

科目名	柔道整復術適応の臨床的判定(医用画像の理解を含む)						
分野	専門分野	担当教員	深谷 高治				
開講時期	2学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	30				2		
科目の概要	画像読影法には単純X線、超音波、CT、MRIなどがあります。単純X線の読影は柔道整復師にとって難しい。超音波は整形外科領域では一般的に使われ、柔道整復師にも必要な判断材料である。						
学習の到達目標	国家試験の出題の対象となる内容を習得する。						
成績評価の方法と基準	出席基準を満たした者については、試験結果、提出物、授業態度を考慮し総合的に評価する。						
使用テキスト	教科書(柔道整復学・理論編)						
参考文献	なし						
講義計画	講義内容						
1	レントゲン撮影法の理解とレントゲン所見の読影法1						
2	レントゲン撮影法の理解とレントゲン所見の読影法2						
3	超音波診断装置のメカニズムと超音波所見の理解1						
4	超音波診断装置のメカニズムと超音波所見の理解2						
5	レントゲン撮影法の理解とレントゲン所見の読影法3						
6	鎖骨の脱臼の病態・治療法・予後に対する理解						
7	肩関節脱臼の病態・治療法・予後に対する理解						
8	肩関節脱臼(反復性脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解						
9	肘関節後方脱臼の病態・治療法・予後に対する理解						
10	肘関節前方脱臼・肘内障の病態・治療法・予後に対する理解						
11	手関節脱臼・月状骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解						
12	CM関節脱臼・DIP関節脱臼の病態・治療法・予後に対する理解						
13	上肢脱臼の総復習1						
14	上肢脱臼の総復習2						
15	総合評価(まとめ)						